



新津第二中学校

コミュニティ・スクール(CS)通信 No.1

令和5年6月20日発行

CS 事務員 藤村 靖子

～地域に開かれた学校から地域とともにある学校へ～

新潟市では、令和2年度にモデル校12校から「コミュニティ・スクール」をスタートさせ、令和4年度からは全小中学校で実施されています。

新津第二中学校では、令和4年度からコミュニティ・スクール学校運営協議会が行われ、今年度2年目のスタートです。第1回は、6月1日(木)に行われました。

～「コミュニティ・スクール(CS)」とは～

コミュニティ・スクール(CS)とは、学校運営協議会を設置した学校です。学校運営協議会では、保護者・地域・学校の代表者が学校運営や必要な支援について様々な観点から協議をします。「地域でどのような子どもたちを育てるのか」「なにを実現するのか」という目指す子どもの姿を共有し、地域総がかりで子供の成長を支え合い、ともに活性化していく、「地域とともにある学校」づくりを進めていきます。学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組むことが可能となる「地域とともにある学校」への転換を図るための有効な仕組みです。

学校運営協議会委員(敬称略)

会長	内山 詩子
副会長	中野 勇作
委員	窪田 吉衛
委員	林 龍太郎
委員	山田 秀樹
委員	貝塚 敦
委員	澤田 栄三郎
委員	荒井 崇博

～今回の会議では～

1. 令和5年度学校運営の基本方針の確認
2. 地域と学校パートナーシップ事業の事業内容の説明
3. 熟議・意見交換 その他

目指す生徒の姿

- ◇たくましく自立する生徒
- ◇互いに協力し、高め合う生徒
- ◇志高く、自己実現を図る生徒



～委員の方からのご意見～

- 今までの良いところを引き継ぎながら、新しいことも取り入れて学校運営してほしい。
- 先生方が頑張っているのを感じています。学校の中で心一つにして、決まったことについて皆で向かっていってほしい。
- 示された方針の中で、伸び伸びと学校生活を送ってほしい。
- コロナが5類となり、中学生が地域に貢献できる機会が増えそうで期待したい。
- 部活動の地域移行に向け、学校と地域での指導方針の一貫性が必要である。
- 子どもの多様性を認める教育を推進してほしい。
- 保護者や地域の人が学校に当たり前で気安く来れるような学校づくりを。

第2回コミュニティ・スクール学校運営協議会は、10月上旬の予定です。

お問い合わせ

TEL 0250-22-0741

新津第二中学校 教頭 澤田 栄三郎

